

## 西馬城地区まちづくり懇話会会議録（要約）

と き：平成29年10月5日（木）午後7時～午後8時20分

ところ：上矢部公民館

出 席：

（市 側） 市長、総務部長、市民生活部長、福祉保健部長、経済部長、教育次長、消防長、土木課長

（事務局） 秘書広報課長、企画財政課長

（西馬城地区） 50名

進 行（秘書広報課長）

1. 市長あいさつ
2. 出席者自己紹介
3. 前回（平成27年度）出された質問等に対するその後の対応状況報告（総務部長）
4. 市政報告（総務部長、教育次長、消防長）  
総合計画など主要施策の進捗状況について「まちづくりレポート」に基づき説明を行う
5. 意見交換会

### 意見①

先日、敬老祝賀会がありイキイキした姿をみて微笑ましく感じた。認知症でもアルツハイマー型は環境が変わったら症状が進むと聞いているので、見慣れた風景、顔見知りの人がいる中で過ごせたらと思います。小学校は高齢者施設にして、スクールバスなどを利用できたらいいのではないかと思います。歴代の会長さんが苦労して子どもを増やそうとしているのに水を差すようで申し訳ないが、限界にきているのかなと思います。私も主人と二人でおり、いつどうなるかわかりませんが、住み慣れた所にずっといたいので小学校を利用して高齢者施設にしてサービスなりをしていただけたらと提案します。

### 回 答

宇佐市全体として高齢者の人数と市内の介護施設の需要と供給も合わせて介護保険の事業計画の中で検証しています。今は宇佐市の中で高齢者の数と施設の数は充足しているところです。今後も、この地域でも高齢者や介護の問題等がますます厳しくなった場合の参考意見としてお聞きしておきたいと思います

### 意見②

スクールバスは、若い人が地域外に住んでいて、親はこちらに住んでいて、子どもが地域以外に住んでいても、学校は大勢の所だという考え方もあるので、スクールバスにすればこちらに住んでいても豊川や駅館に通えると若い人も来やすくなるのではないかと、空き家もあるのでこれらを利用して少しは若い人も増えるのではないかと思います。

## 回 答

宇佐市の方針としては、市教育委員会としての学校の統廃合は当分の間、現状を維持するという考えです。適正規模検討委員会を開催しながら、学校の規模の適正配置について議論しています。地域の子どもは地域で育てるという委員会の大きな方針もあり、小規模校であるがゆえに個々の子どもに目が行き届き、一人ひとりに手だてが出来るという大きな利点があります。利点を生かしながら、今のところは統廃合をせずに守っていくという取り組みです。市全体としても若者定住促進、周辺部に若者に帰っていただくよう政策に補助をしながら取り組んでいく所です。学校の統廃合も未来永劫というわけではありませんが、地域一体となって特認校という特性を活かしながら少しでも子どもたちが増えるようご協力をお願いしたいと思っています。

## 意見③

前回の質問に対するその後の対応の12番の歩道のない箇所が800mほどあり、県に要請してくれということですが、工場がある宇佐町との分かれまでは歩道があるが、そこからなくて上は次の上矢部の橋があります。歩道の設置をお願いしているがかなりの時間がかかっても進まない。ちょうど市道の分かれ道から下矢部に入って行く農道があります。それからの上矢部の橋までの農道がありますが、いったん下矢部に入り、上矢部に入る道を子どもたちが通っているようです。ただし、農道なので広くもないし防犯灯がなくて真っ暗なので何か所か防犯灯をつけてもらえないでしょうか。

## 回 答

防犯灯については自治区で危機管理課に申請していただければ3分の2、2万円以内で補助するようにしています。電柱のある所につければ一番安くでき、電柱が建てられる状態であれば電柱を1本作って、となれば地元負担金がかかりかかりますが、そういった方法もあります。区長さんが電柱番号等含めて市役所に申請してご活用してください。数年前から始めすでに5300基程設置しています。

歩道の件は、今、県が歩道の整備については基本的に学校から半径500m、全長で1km前後間を基本的に行っており歩道が出来ています。それより以前、下水処理場の向うの石井製作所の歩道はそういった部分ができる以前にできたもので、ちょうど今言われたその間が出来ていないので、要望書を一度出していますが、再度区長さん方も署名をいただき陳情したいと思います。

## 意見④

防犯灯の設置場所は大字としては下矢部になる。実際通るのは上矢部の子ども、中学生です。上矢部の補助でなくて、出来れば市でつけるということは出来ないのでしょうか。

## 回 答

現状では防犯灯を市がつけて差し上げるという制度はありません。通学路というのは、色んな所から声が上がっています。ある程度のルールを決めなくては、難しいと思っています。今、どういう形でしたらいいか検討しているところです。現状では付けましようと言えませんが、市としても一定のルールを決めながら出来ないかと思っています。

#### 意見⑤

下矢部の歩道のない部分を今くらいの時間に学生が通っており危ないので、日中も危ないのですが、もしよければ青パトが県道しか通っていないような気がするので、もう一本中の道を子どもたちが通る道にルートを変更してもらえないかと思います。

#### 回 答

青パトについては、通学の時間帯に走らせています。要望については柔軟に対応できますので、危機管理課に走らせ方、頻度について、ご意見をいただいたことを確認させていただき、なるべくご希望に沿うよう対応させていただきたいと思います。

#### 意見⑥

8年前から中山間事業で下矢部上矢部にかなりの金額をいただき、おかげで農地の保全を行っています。対策としては農地の保全はもちろんですが、草刈、用排水路の管理、有害鳥獣のイノシシやシカの防護柵をしています。西馬城地区の水田だけで恐らく150ヘクタールほどあるのではないかと思います。大変助かっていますので是非継続していただきたい。アライグマのことですが、農作物を作っていますが、特に夏の西瓜についてジグマやアライグマから荒らされました。今年の夏に昔のねずみとりの大きくしたカゴに3頭かかり生活環境課に電話をしたら、ジグマやアライグマは引き取れないので、山に逃がしてくれませんかと言われ困った。でも他の人から、市にカゴを持って行ったら引き取ってくれたということを知りました。今後は捕獲の時期を問わずに処分してほしい。アライグマは側溝の下とかに隠れており、1頭でなくツガイでいる。処理ができないので願います。

#### 回 答

事実関係を確認して柔軟に対応していきたいと思います。箱穴講習会を開催したり捕獲後の殺処分について予算を確保して今後も支援していきたいと思います。

アライグマとジグマは両方、狩猟法で対象獣となっており、捕獲は出来るのですが、法律的に言えば免許を持っている人でないと捕獲は出来ないようになっています。狩猟期間はイノシシ・シカ以外は11月15日から2月15日までの3カ月と法律で決まっています。その間では狩猟免許を持っている人は捕獲できます。それ以外はジグマについては市が駆除の指示を出しています。駆除班に入って免許を持っている人はジグマの被害の問い合わせがあった時に捕獲の指示を出し処分をしています。どうにか捕獲をしてという気持ちはわかります。アライグマもジグマも一家が同じ穴に入っているの、1頭いれば何頭もいます。

#### 意見⑦

18号台風の時、大雨が降りました。学校の近くに住んでおり、大雨の時にパトロールをしましたが、学校の前の水路の上流は水路にU字溝が入ってなくて、幅が1mちょっとある。学校の前はU字溝が入っているが50cmの小さいものです。以前から大雨が降った時に越して、今回は舗装の上を15cmから20cm流れていった。土木に申請をし

ましたが早くして水が溢れないようにしてほしい。

## 回 答

小学校の横から前に向かっての水路は確認しましたが、大きさが違っていました。なるべく早く対応したいと思います。農業用水路と兼ねているようですので、関係課と協議をしながら対応させていただきます。

## 全体の回答補足

高齢者福祉の施設の拡充についてですが、宇佐市の高齢化率は34%を超えました。実人数では65歳以上は約2万人となっています。介護保険事業はどれくらいの高齢の方がどのような介護が必要か中学校区ごと7校区にわけて需要と供給のバランスをとっています。あまり施設を作りすぎると負担が増え、介護保険料に跳ね返るという相関関係にあります。全体にどれくらいの介護の需要があり、どれくらいの介護認定者のサービスが必要かなどをシュミレートして、足りない所をデイとか認知症系のグループホームが必要だとかを決めたうえで公募して決めていくようにしています。事業者を市が直営でしていくというのは困難ですが、どこかの事業者を公募してするということになります。

歩道整備については、先ほどの考え方で県の土木が行っています。あとは学校の周辺を優先にしたいということですので、引き続き粘り強く要望していきたいと思います。

防犯灯については、小学校に限らず中学校、高校と、冬季の夜真暗な中の行き来について憂慮しております。市ではLEDの補助制度を創設したところ、ほとんどの自治区で手をあげていただき5,300基ぐらい建てていただきました。その結果、村中の集落はLEDの防犯灯をつけて明るくなりましたが、集落と集落をつなぐ途中が暗くなっています。市が管理する道路の電柱にLEDをつければあまり予算もかからないので、新たにつけるような方策はできないか、検討するよう土木課長に指示している所です。なんとか制度化をしてお知らせ出来るようにしたいと思っています。

中山間の事業については、使い勝手がいいということで有害鳥獣から水路の補修などに使ってもらっており、良好な状態で維持管理をしていただいていると思います。

台風関係ですが、18号の時に寄藻川はかなり水量があり、恐ろしい状況でした。学校前の水路については、用水路の排水路として整備したのか、農業用水として整備したのか事実関係を見た上でどういった整備手法が妥当か、検討していきたいと思います。

西馬小学校の児童の確保についてですが、小学校区別の出生数のデータによると、今の1年生から6年生が出て新たに0歳児から5歳児が置き換わったとした場合、西馬城小学校は8人しかいません。しかしながら、西馬城小は特認校で外から子どもが来ていますので現在も23名おります。小規模校ですが、英語の能力は宇佐市のトップクラスとなっており、一人ひとりの個に応じた対応ということでは光り輝いています。特認校ということでは宇佐市唯一となっていますので、枠組みを維持しながら出来るだけ児童を確保したいと思っています。若者定住住宅については西馬城小学校の未就学児童が厳しい状況ですので、2期計画に入れてなんとか取り組んでいきたいと思っています。